

ふくしの木

Contents

- 01 会長あいさつ
理事・評議員改選のご報告
- 02 平成28年度事業ならびに事業活動収支決算報告
- 03 平成29年度 当初予算の概要
- 04 社協の使命
4つの基本方針
- 05 平成29年度事業計画
- 06
- 07 職員名簿



2017.9
No.32

ふくしの木

第三二号 発行日／平成二十九年九月 発行／社会福祉法人美馬市社会福祉協議会 TEL 0883-531-7432 FAX 0883-531-6490 電話 (0883) 531-7432 FAX (0883) 531-6490 e-mail mimashi@tokushima-shakyo.jp

★法人運営部		会長	副会長	常務理事	＊＊＊＊＊
		大垣賢次郎	田邊 正枝	加美 一成	
●地域福祉支援課	事務局長	FAX 531-6475	課長(兼務)	課長補佐	
	事務局次長	TEL 531-7432	課長(兼務)	課長補佐	
	主事	TEL 531-7432	生活支援員	生活支援員	
	課長補佐	TEL 531-7432	生活支援員	生活支援員	
	臨時職員	TEL 531-7432	生活支援員	生活支援員	
●総務課	事務局長	TEL 531-6475	主事	係長	
	事務局次長	TEL 531-7432	係長	係長	
	主事	TEL 531-7432	事長	主任	
	課長補佐	TEL 531-7432	事長	主任	
●地域福祉課	事務局長	TEL 531-7432	事長	主任	
	事務局次長	TEL 531-7432	事長	主任	
	主事	TEL 531-7432	事長	主任	
	課長補佐	TEL 531-7432	事長	主任	
●暮らしサポートみま	事務局長	TEL 531-7830	主事	係長	
	事務局次長	TEL 531-7830	係長	主任	
	主事	TEL 531-7830	事長	主任	
	課長補佐	TEL 531-7830	事長	主任	
●暮らしサポートみま	事務局長	TEL 531-7830	主事	係長	
	事務局次長	TEL 531-7830	係長	主任	
	主事	TEL 531-7830	事長	主任	
	課長補佐	TEL 531-7830	事長	主任	
●在宅福祉サービス事業部	事務局長	TEL 531-0211	主事	係長	
	事務局次長	TEL 531-0211	係長	施設長	
	主事	TEL 531-0211	事長	施設長	
	課長補佐	TEL 531-0211	事長	施設長	
●在宅福祉サービス事業部	事務局長	TEL 531-0211	主事	係長	
	事務局次長	TEL 531-0211	係長	施設長	
	主事	TEL 531-0211	事長	施設長	
	課長補佐	TEL 531-0211	事長	施設長	
●デイサービスセンター [おちあい荘]	事務局長	TEL 531-1211	主事	係長	
	事務局次長	TEL 531-1211	係長	施設長	
	主事	TEL 531-1211	事長	施設長	
	課長補佐	TEL 531-1211	事長	施設長	
●デイサービスセンター [つるぎの里]	事務局長	TEL 681-3030	主事	係長	
	事務局次長	TEL 681-3030	係長	施設長	
	主事	TEL 681-3030	事長	施設長	
	課長補佐	TEL 681-3030	事長	施設長	
●デイサービスセンター [池月苑]	事務局長	TEL 631-5550	主事	係長	
	事務局次長	TEL 631-5550	係長	施設長	
	主事	TEL 631-5550	事長	施設長	
	課長補佐	TEL 631-5550	事長	施設長	
●介護支援センター [美馬市出向]	事務局長	TEL 681-3041	主事	係長	
	事務局次長	TEL 681-3041	係長	施設長	
	主事	TEL 681-3041	事長	施設長	
	課長補佐	TEL 681-3041	事長	施設長	
●美馬市包括支援センター	事務局長	TEL 681-3030	主事	係長	
	事務局次長	TEL 681-3030	係長	施設長	
	主事	TEL 681-3030	事長	施設長	
	課長補佐	TEL 681-3030	事長	施設長	
●美馬市移住・定住促進課	事務局長	TEL 681-3030	主事	係長	
	事務局次長	TEL 681-3030	係長	施設長	
	主事	TEL 681-3030	事長	施設長	
	課長補佐	TEL 681-3030	事長	施設長	
●ライフコーディネーター [佐藤芳美]	事務局長	TEL 681-3030	主事	係長	
	事務局次長	TEL 681-3030	係長	施設長	
	主事	TEL 681-3030	事長	施設長	
	課長補佐	TEL 681-3030	事長	施設長	

平成28年度

社協の事業ならびに事業活動収支決算報告

5月に開催されました理事会、6月に開催された評議員会において、

平成28年度社会福祉法人美馬市社会福祉協議会事業報告ならびに決算報告が承認されました。

平成28年度事業報告(要旨)

1 組織の基盤強化

- 理事・監事及び評議員の改選があり、評議員選任・解任委員会の設置や、規程の作成を行いました。
- 毎月1回安全衛生委員会を開催し、ストレスチェック規程を作成し実施しました。
- 発展・強化計画は、課長補佐以上の職員でプロジェクトチームを作り、地域福祉推進の実現に向けた組織、事業、財務等に関する具体的な取り組みの協議を行うことで、職員の意識改革に取り組むことができました。
- 広報誌発行は、4月・9月・1月の3回、市内全戸に配布し情報提供を行いました。
- 役員研修は、理事会と評議員会で社会福祉法人制度改革について開催しました。
- 市社会福祉大会は、社会福祉事業に功績のあった方等に対する表彰、感謝状の贈呈並びにダイヤモンド婚・金婚の祝い状の贈呈を行いました。
- 社協会員会費の募集を行い、各種事業への助成等に活用しました。
- 善意銀行運営事業は、一般寄附や香典返し寄附等の預託を、地域福祉活動計画や地域等へ払い出しを行いました。

2 組織の基盤強化と地域の福祉力の向上

- 小地域生活支援生活支援ネットワーク事業の推進は、各地区的リーダーに働きかけ、現状の活動についての確認や支えあいマップの活用の有効性について理解を促すことができました。また、今年度新たに8か所の自治会が立ち上げに取り組んでくれました。
- 第2次地域福祉活動計画実行委員会において、各地区で年度計画に沿った住民の主体的な活動を展開することができました。今後も各地区で地域ニーズに沿った特色のある住民活動を展開していきます。
- 介護予防啓発事業は、ふれあい・いきいきサロン参加者の高齢化や後継者問題についての相談に対して地域に出向き、継続したふれあい・いきいきサロン運営につながるよう参加者とともに検討することができました。

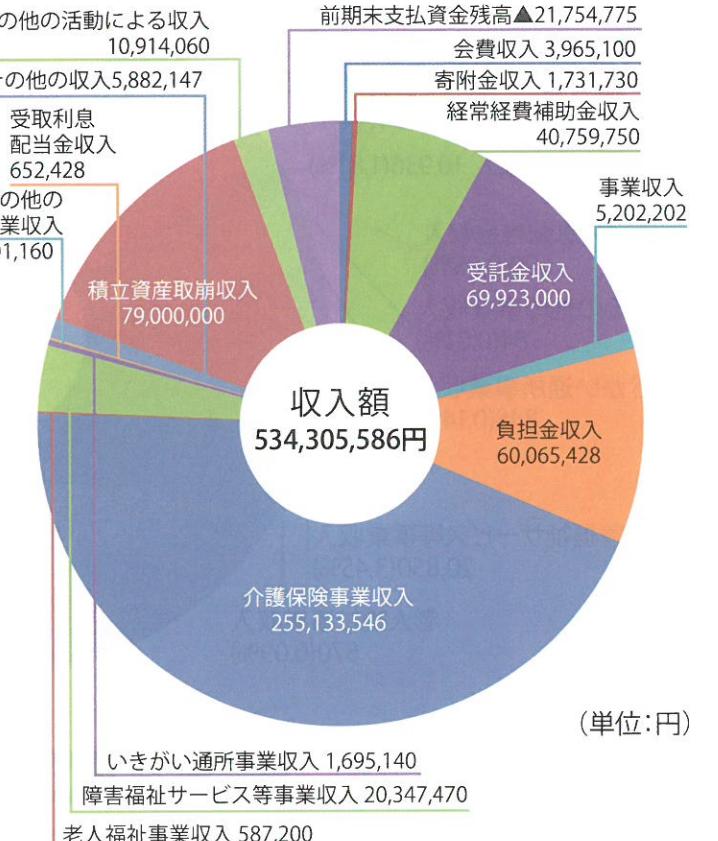
3 生活課題を抱える方等への個別支援と 自助力向上のための支援

- 法人後見センター事業、日常生活自立支援事業の推進により権利擁護の確立と利用者の尊厳の保持に努める支援ができました。
- 社協内組織や関係機関等との重層的な連携を図ることで、個別支援から家族支援へと総合的な支援が行えました。また、制度の枠組みでは対応できない事案にも取り組むことができました。
- 市民後見人が誕生し、同時に成年後見監督業務を開始しました。今後も、成年後見等の需要増加が見込まれるため、計画的に市民後見人養成が必要と思われます。

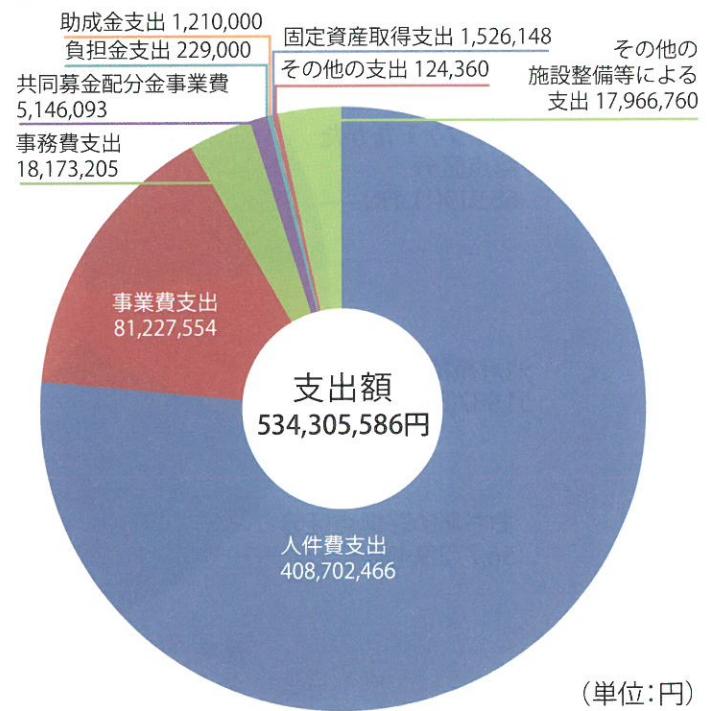
4 地域住民から必要とされる福祉サービスの提供

- 介護サービスレベル向上のため、県が実施する認知症介護実践研修を受講した他、外部から講師を招き介護の実技研修を行いました。また、内部研修につきましても計画的に実施いたしました。収支改善のための報酬加算取得に向けた研修についても実施しました。
- デイサービスセンター2か所へ高圧電位治療器「スカイウェル」を導入しサービスアップを図ることができました。
- 介護サービスの広報活動として、地域福祉課と連携し地域のふれあい・いきいきサロンにおいて、介護保険制度の説明を実施しました。

【平成28年度 決算の概要】 一収入一



【平成28年度 決算の概要】 一支出一



事業計画

総務課

事業名	事業概要
組織の運営強化	社会福祉法改正に伴い規則や規程の追加・見直しを継続して行うこととで法人の基盤整備を図ります。また、役職員が研修会に参加することで法人運営、経営の基盤強化と組織強化につなげます。
財政基盤の強化	新規事業の開拓や受託事業を継続することにより、補助金、受託金、配分金等での財源を確保し、社協として事業の発展、基盤の強化を図ります。また、善意銀行の有効活用により、住民の福祉向上につなげます。また、効率的な事業推進と経費の削減に努め、定期的に収支状況を把握することによって社協運営の安定を図ります。
社会福祉大会の開催	社会福祉事業に貢献のあった者や団体等に対し、表彰並びに感謝の意を表するとともに、福祉意識の醸成・高揚を目的として開催します。
社協会員会費の募集	社協事業や活動に関心をもって良き理解者となり、「福祉のまちづくり」を住民とともに実現する事業の財源として募集します。

地域福祉課

事業名	事業概要
地域福祉活動計画事業	旧町村4地区の第2次地域福祉活動計画に基づくさまざまな活動を支援し、地域住民の参加・参画により福祉のまちづくりを実現します。また、第3次地域福祉活動計画を策定します。
日本赤十字社事業	日本赤十字社は「人々の生命と健康を守り、人としての尊厳を確保する」活動を実行します。そのための活動支援費を募集します。
赤い羽根共同募金事業	町の活性化や地域福祉課題に対する社会福祉事業推進のための活動を行っています。また、この募金は災害に対しても使用されます。
地域福祉推進公募配分金事業	共同募金配分金を財源として、美馬市内で活動する非営利の団体(ボランティア・NPO・自治会等)に資金面での支援を行います。
自主防災組織活動助成事業	訓練及び知識の啓発活動を通して、防災に関する地域住民の連帯感を高め、その機能を十分発揮できるよう、組織活動を促進します。
災害ボランティアセンター整備事業	災害ボランティアセンターのスムーズな立ち上げと運営ができるよう整備します。マニュアルにもとづき年1回は訓練を行います。
防災ボランティア事業	地域の福祉力向上を図り、災害発生後、行政や外部ボランティアなどと連携し、住民主体のまちづくりや復興に結びつく支援をします。
ボランティア市民活動センター事業	ボランティア活動の支援拠点として地域住民の関心を高め、気軽にボランティア活動に参加できる地域づくりを目標に支援します。
子育て支援事業	子育ての当事者が地域の方と子育てに関する悩みや楽しさを分かち合い、子育てを楽しめる交流の支援を行います。
地域介護予防活動支援事業	ふれあい・いきいきサロンへ活動支援を行うことで活性化を図り、介護予防の普及を行い健康寿命の増進を図ります。また、ふれあい・いきいきサロンのない地域や団体への啓発やサロンの立ち上げを推進します。